

平成29年度 社団法人
岐阜県臨床検査技師会 精度管理報告会

各研究班精度管理調査結果報告

輸血検査

八木 良仁（県立多治見病院）



参加状況

参加施設数 34 施設 (34)

血液型検査 34 施設 (34)

不規則性抗体スクリーニング 26 施設 (25)

不規則性抗体同定 16 施設 (16)

試験管法による凝集価 28 施設 (28)

()は昨年度

<配布試料>

試料№51・52

愛知赤十字血液センターの協力により、検査で不適となった献血者由来の血液に 関東甲信越ブロック血液センターの協力により抗血清の供与を受け、添加したものをを用いた。

試料№53-1

抗D血清非添加アルブミン添加生理食塩水

試料№53-2 試料№53-3 同一試料

抗D血清をアルブミン添加生理食塩水で×50に希釈したもの

<試料内容の検証>

血液型

試験管法 カラム凝集法にて判定し確認した。

不規則性抗体検査

試験管法

生理食塩水法・ブロミン法・アルブミン-クームス法・PEGクームス法

カラム凝集法

フィン法・LISSクームス法

で判定し確認した

評価基準<血液型>

以下の判定を評価Aとした

(おもて試験・うら試験の凝集価については評価対象外)

試料No.51

ABO: A型 RhD: 陽性

試料No.52

ABO: O型 RhD: 陽性

※ABO血液型で『判定保留』は評価B, それ以外の回答は評価Dとした.

評価基準<不規則性抗体>

各法(生理食塩水法・酵素法・間接抗グロブリン法)の
判定結果は評価対象外とし以下の判定を評価Aとした

試料No.51

スクリーニング： 陽性, 抗体同定： 抗Dia

試料No.52

スクリーニング： 陽性, 抗体同定： 抗S

それ以外は評価D

評価基準<凝集価>

No53-1

『陰性』を評価A それ以外を評価D

No53-2 No53-3 同一試料

『3+』を評価A 『2+』『4+』を評価B
それ以外を評価D

評価基準<抗体価>

No53-1

『未実施』を評価A それ以外を評価D

No53-2 No53-3 同一試料

『16倍』『32倍』を評価A

『8倍』『64倍』『128倍』を評価B

それ以外を評価D

正解率

試料No.51

血液型検査

ABO 100%

RhD 100%

不規則性抗体検査

スクリーニング^g 100%

抗体同定 100%

試料No.52

血液型検査

ABO 100%

RhD 100%

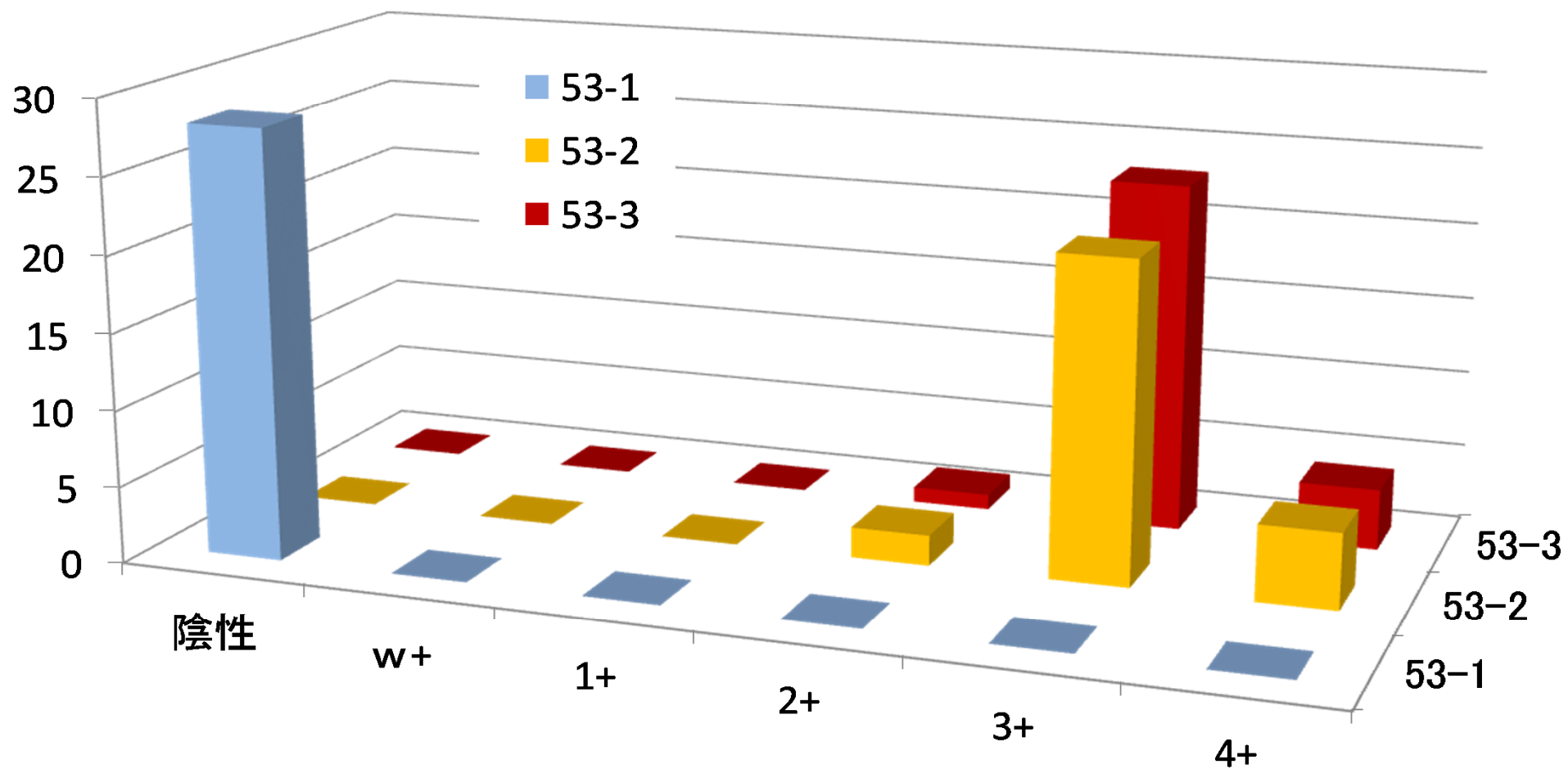
不規則性抗体検査

スクリーニング^g 100%

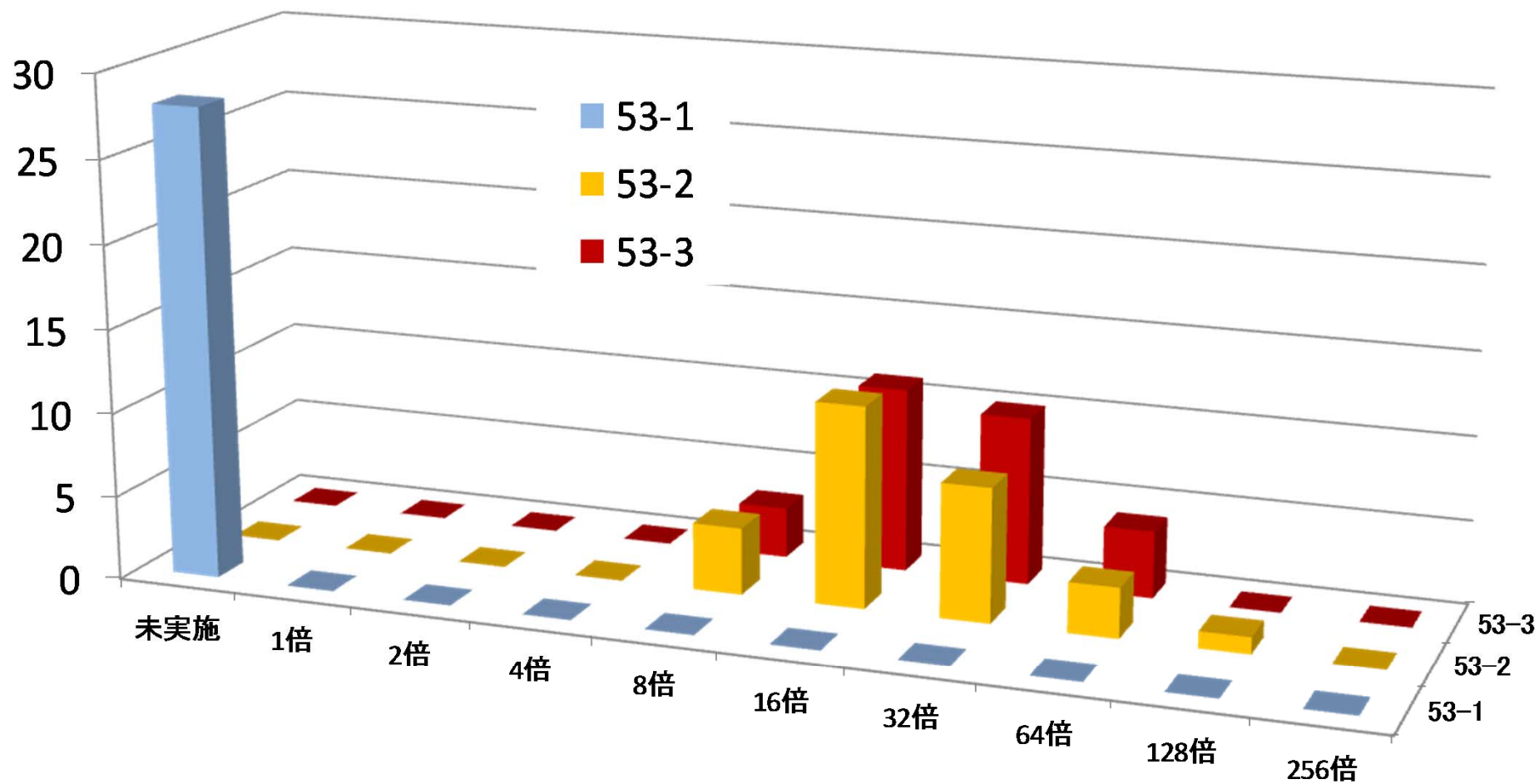
抗体同定 100%

部門別 精度管理調査結果報告(輸血検査)

試験管法による凝集価の判定



試験管法による抗体価の判定



正解率<凝集価>

試料No.53-1

評価A 100%

試料No.53-2

評価A 75%

評価B 25%

試料No.53-3

評価A 82%

評価B 18%

正解率<抗体価>

試料No.53-1

評価A 100%

試料No.53-2

評価A 71%

評価B 29%

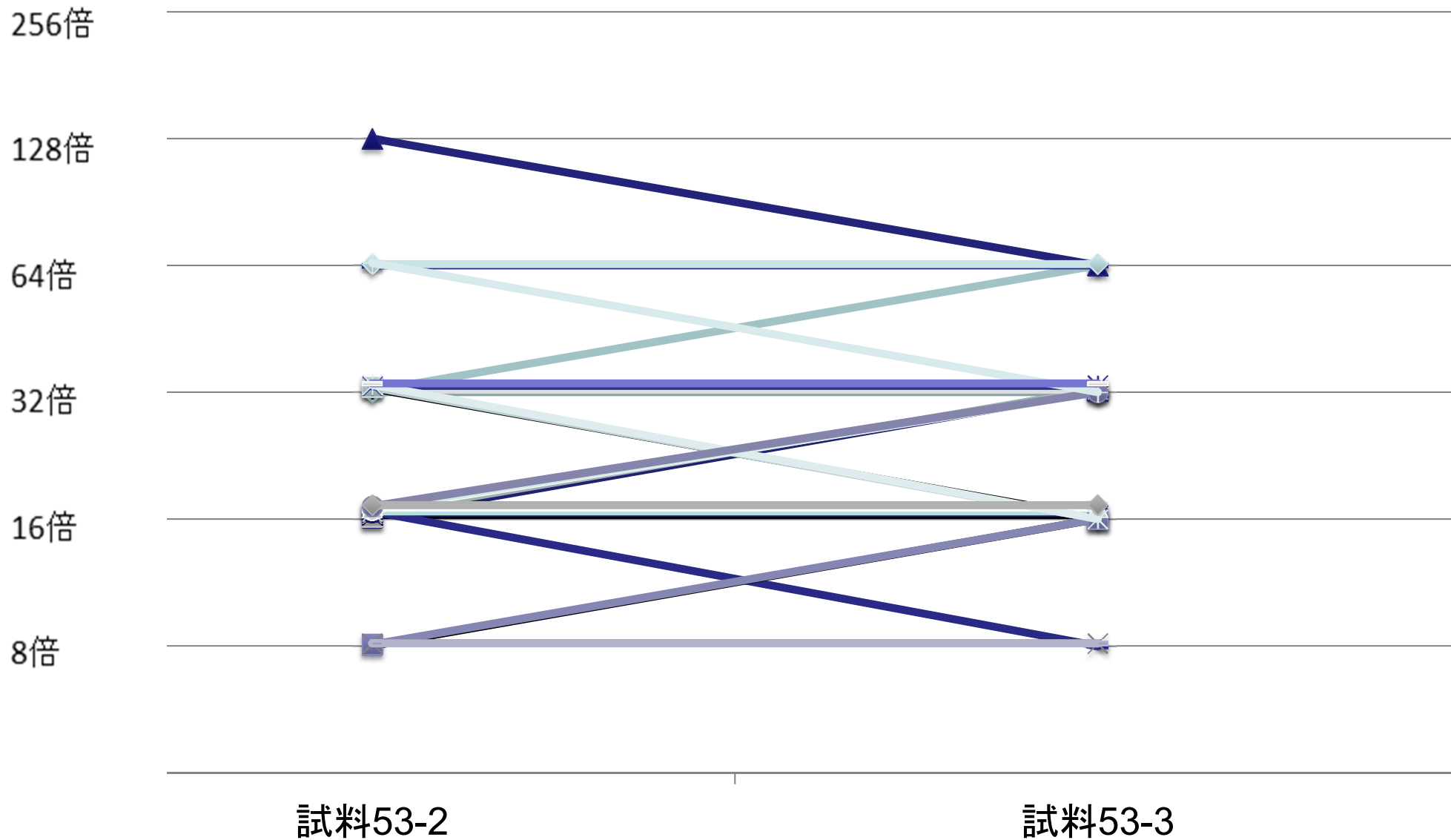
試料No.53-3

評価A 75%

評価B 25%

各部門 精度管理調査結果報告(輸血検査)

試料53-2 と 試料53-3の 管差



試料53-2 と 試料53-3の 管差

管差	施設数
なし	14
53-2 > 53-3	7
53-2 < 53-3	6

部門別 精度管理調査結果報告(輸血検査)

<ABO血液型うら試験結果>

- ABO血液型うら試験において、O型血球との判定を実施している施設は 5施設であった。
- 試料51のうら試験における、B血球との凝集価の状況は下表のとおりであった

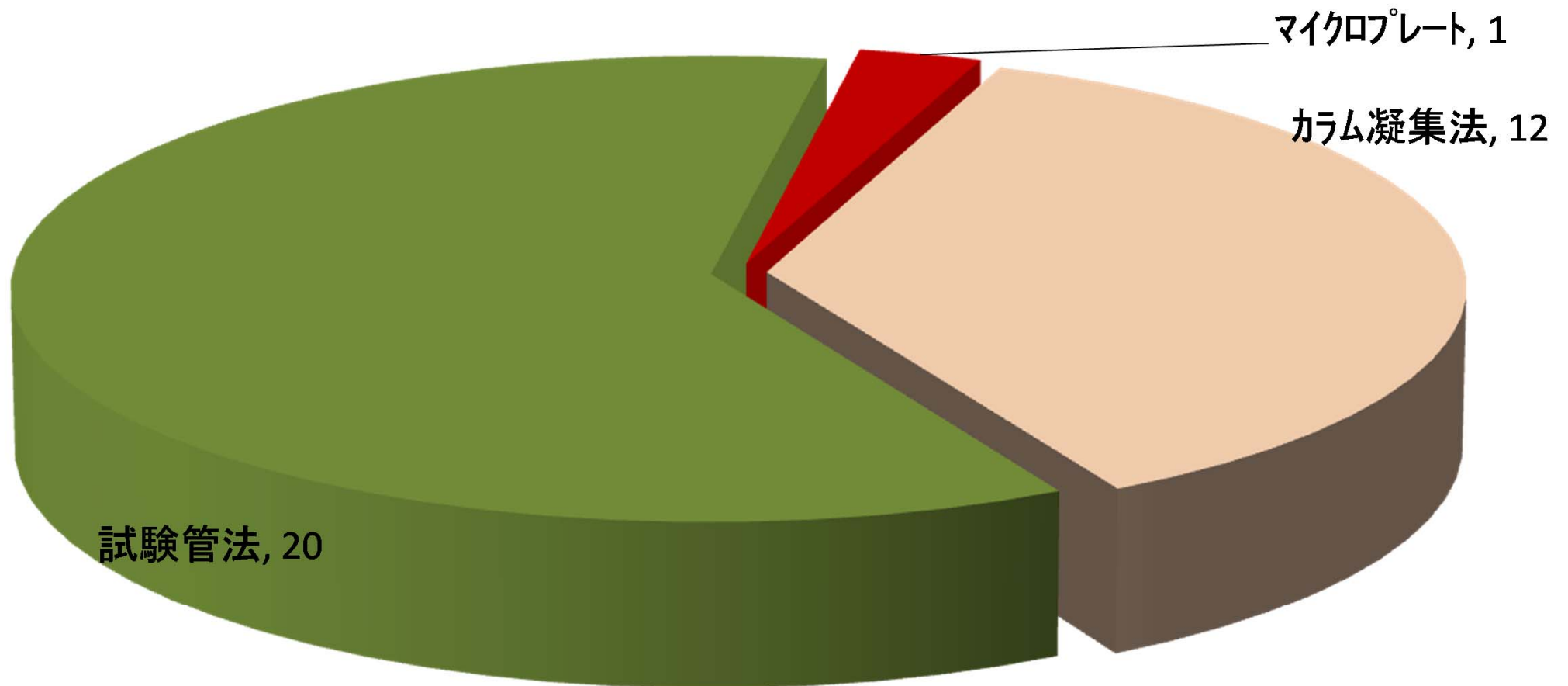
	カラム凝集法	マイクロプレート法	試験管法
2+	2		1
3+	9		6
4+	2	1	13

部門別 精度管理調査結果報告(輸血検査)

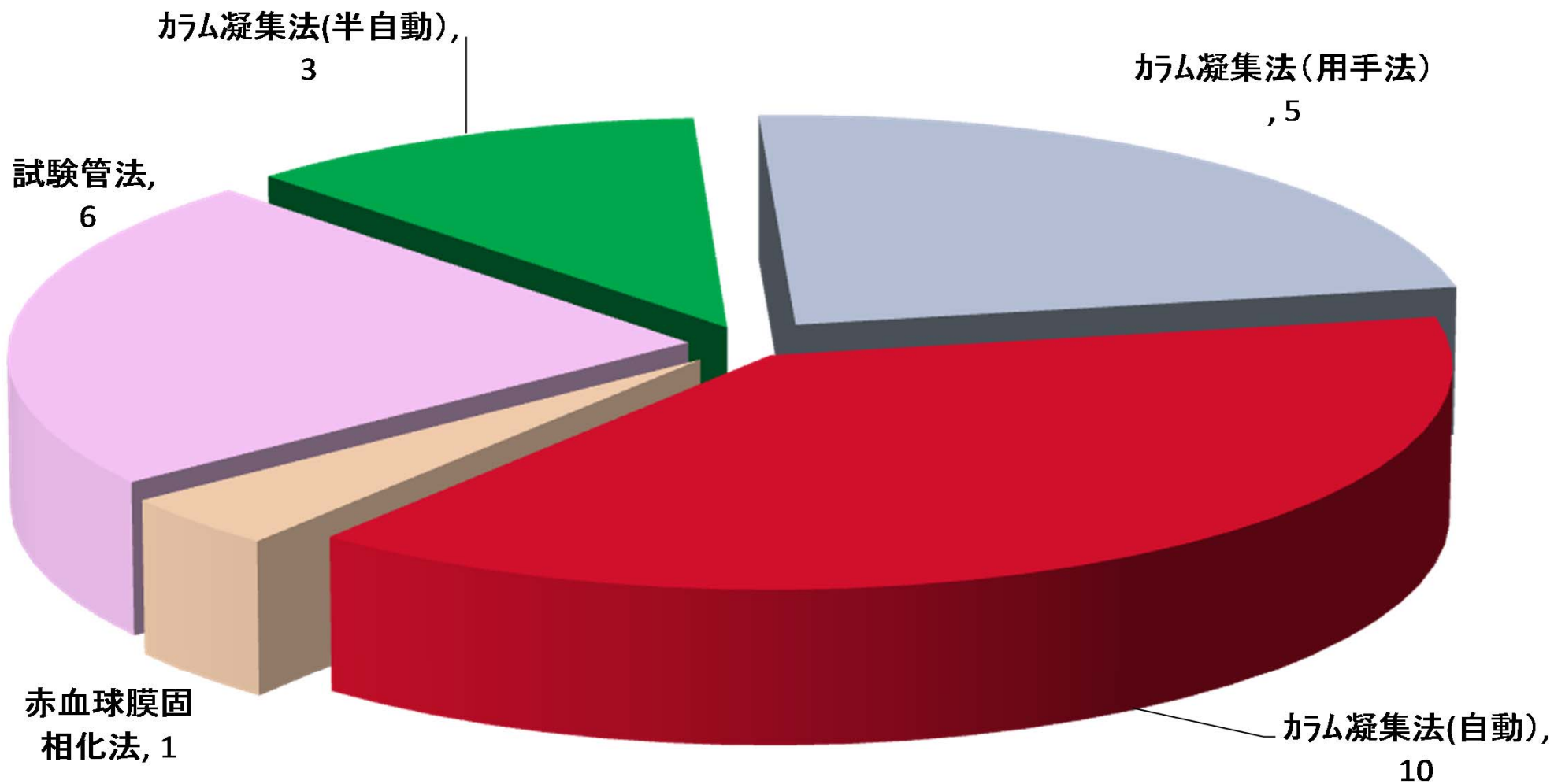
不規則性抗体スクリーニング検査法

方法	生理食塩水法	酵素法	間接抗グロブリン法	施設数
実施の有無	実施	実施	実施	2
	実施	未実施	実施	4
	未実施	実施	実施	12
	未実施	未実施	実施	8
実施施設数	6	14	26	26

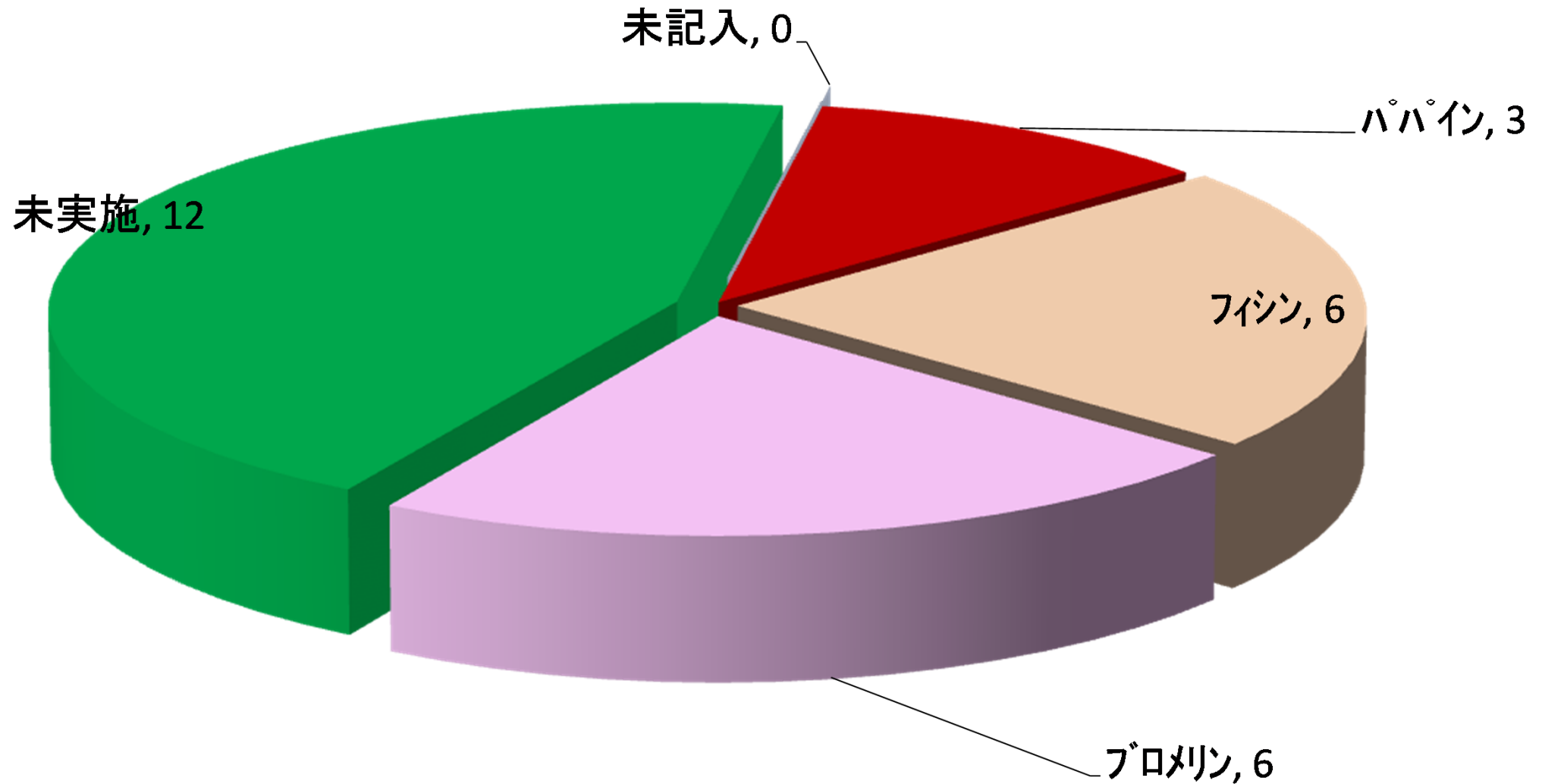
血液型検査法



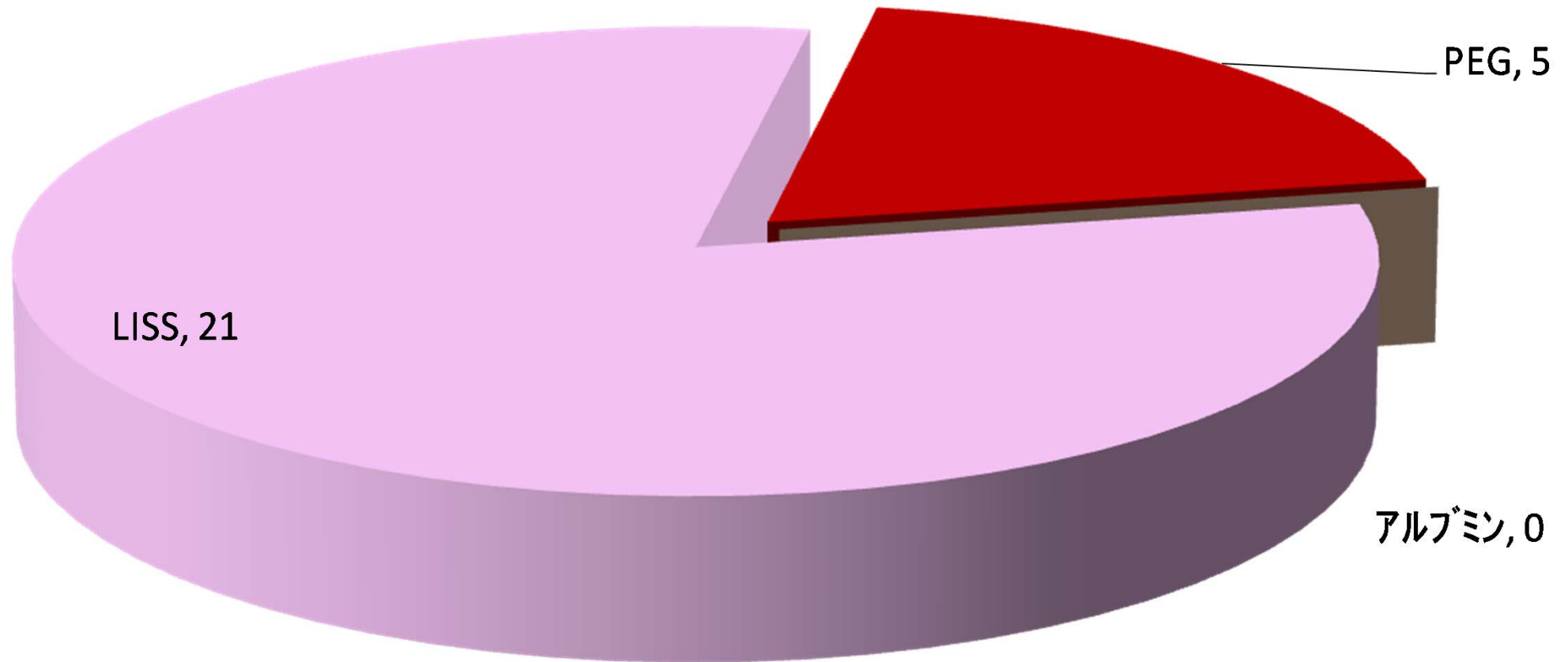
不規則性抗体検査法



不規則性抗体検査酵素法試薬



不規則性抗体検査反応増強剤



まとめ

- 全ての項目で、良好な結果であった.
- サーベイに適した試料の確保が課題
- 今回から関東甲信越ブロック血液センターより抗血清の供与を受け添加したものを使用した
- 輸血検査を実施している県下全施設が、積極的に参加されることが望まれる